

令和6年流山市教育委員会会議第9回定例会会議録

- 1 日 時 令和6年9月26日（木曜日）
開会 午前10時00分
閉会 午前10時20分
- 2 場 所 流山市役所 303会議室
- 3 出席委員 教 育 長 田中 弘美
教育長職務代理者 宮田 義則
委 員 山本 正子
委 員 羽中田 彩記子
委 員 宮本 尚子
委 員 勝本 正實
- 4 欠席委員 なし
- 5 傍聴者 なし
- 6 出席職員 教育総務部長 大塚 昌浩
学校教育部長 南 暁男
生涯学習部長 石川 博一
教育総務部次長兼学校施設課長 吉田 瑞穂
学校教育部次長兼学校教育課長 澁木 宏紀
教育総務課長 新倉 英之
指導課長 郡司 美紀
スポーツ振興課長 小池 昌樹
公民館長 佐々木 武男
図書館長 伊原 純子
博物館長 北澤 滋
いじめ防止相談対策室長 吉川 正一
指導課長補佐 北野 美紀

7 事務局職員	教育総務課長補佐	遠山 美保
	教育総務課庶務係長	石川 春樹
	教育総務課主事	石戸 寛諭
	教育総務課会計年度任用職員	寺坂 真佐美

8 議案等

報告第 7号 臨時代理の報告について（令和6年10月1日付け流山市教育委員会職員（管理職）人事異動について）

報告第 8号 臨時代理の報告について（和解及び損害賠償の額の決定について）

9 議事の内容

（開会 午前10時00分）

田中教育長	ただいまから、令和6年流山市教育委員会会議第9回定例会を開会します。 まず、令和6年流山市教育委員会会議第8回定例会の会議録をお配りしておりますが、御意見、御指摘ございますか。 （特になし との声あり）
田中教育長	特になしということですので、承認ということにします。 これより議事に入ります。 報告第7号「臨時代理の報告について（令和6年10月1日付け流山市教育委員会職員（管理職）人事異動について）」を議題とします。報告理由の説明を求めます。
教育総務課長	本件は、令和6年10月1日付け流山市教育委員会職員（管理職）人事異動について、流山市教育委員会組織規則第5条第1項の規定により臨時代理をしましたので、同条第2項の規定により報告するものです。内容については、本日お配りした人事異動名簿を御参照ください。事前にお送りできなかったのは内示が昨日となったためです。記載のとおり、教育総務部の役職替えとなります。
田中教育長	本案について質疑等ありましたらお願いします。 （特になし との声あり）

田中教育長

特にないようですので、質疑等を終結します。
報告第7号は、原案のとおり了承することに御異議ありませんか。

(異議なし との声あり)

田中教育長

御異議なしと認めます。よって報告第7号は、原案のとおり了承することに決しました。

次に、報告第8号「臨時代理の報告について（和解及び損害賠償の額の決定について）」を議題とします。報告理由の説明を求めます。

教育総務課長

本案件は、学校敷地に接する道路で発生した物損事故に係る和解及び損害賠償の額の決定について臨時代理したので、報告するものです。事故の内容ですが、令和6年7月16日午前9時頃、向小金小学校の敷地内で当小学校の職員が刈払機で敷地の草刈りをしていたところ、飛び石がまた発生してしまい、敷地の外の道路に駐車していた相手方車両の窓を破損させたことによる物損事故です。相手方車両は、向小金小学校の裏門付近の道路を挟んで隣接する敷地に建設中のマンションの施工業者の車両です。事故発生の報告を受け、当日直ちに私と教育総務課庶務係長が現地に赴き、相手方に謝罪するとともに、事故に伴う諸手続について説明し、御理解いただきました。解決方法は損害額の全額を市が負担することで、令和6年8月26日に和解が成立しております。損害賠償額は、相手方車両の修理代3万250円となります。今年度に入り、同様の事故が連続して発生しており、校長宛ての注意喚起の通知と、校長会議における事故防止の徹底を呼び掛けたところです。

田中教育長

本案について質疑等ありましたらお願いします。

(特になし との声あり)

田中教育長

特にないようですので、質疑等を終結します。
報告第8号は、原案のとおり了承することに御異議ありませんか。

(異議なし との声あり)

田中教育長	御異議なしと認めます。よって報告第8号は、原案のとおり了承することに決しました。 次に、各課等事務連絡に移ります。指導課からお願いします。
指導課長	(総合体育大会結果(全国・関東大会)について、全国学力学習状況調査結果について)
生涯学習部長	(流山市文化祭について)
田中教育長	以上の各課等事務連絡への質疑等がありましたらお願いします。
羽中田委員	全国学力学習状況調査結果についてですが、<課題と今後の取り組み>の ところの「P C、タブレット等のI C Tの活用について、全国と比較すると 低くなっています。しかし…」の部分が少し理解しづらく、「先生方はI C T 教材と紙ベースの教材の両方を準備し、児童生徒がどちらを使うかを選んで いることも調査の数値に差が生じている一因」という部分の意味が分からな かったので、御説明を追加していただけますか。
指導課長	質問の仕方が、方向性が違うということがあるかと思うのですが、子ども たちが実際にタブレットを使っている場合と、先生方がタブレットを使って 提示したりすることと若干差があるので、回答が子どもたちにより異なっ ている可能性はあるかと思います。例えば算数などは、やはり紙でやりたい子 どももいるので先生が両方用意し、どちらを使うか子どもたちに選ばせてい る学校もあり、そうすると子どもたちの印象としては、紙を使って授業をし ていると受け取る子もいれば、タブレットを使っていると受け取る子もいま す。子どもたちの個によりその質問に回答するので、そうした差があるので はないかという意味です。授業でタブレットを活用するように先生たちも促 しているのですが、やはり紙で書きたい子どもたちもいるので、大体の学校 が両方用意し完全にどちらかということはないと認識しています。
羽中田委員	タブレットを使った授業も紙を使った授業も、どちらも大事にしていかな ければいけないと思います。ただタブレットを活用することに時間を費やさ ないと、なかなか子どもたちは新しい学習の仕方を学んでいかないと思いま す。どちらを使ってもいいというと従来の紙になる。でも必要な時は紙を使

い、必要な時はタブレットを使うという、先生の指導の方向性はしっかり持っていたかかないと、どちらでもいいというのは少し曖昧だと感じます。

指導課長

今申し上げたことが全部そうだというわけではなく、今日はタブレットを使いなさいという日もあるかもしれないですし、先生はタブレット使うけれど、子どもたちは今日は紙だよ、という日もあるかもしれず、やはりその日の授業の内容により、教師の指示も変わってくるかと思います。タブレットを使わず紙を重視するとか、その逆のようなこともなく、その単元の扱う内容により紙とタブレットの両方を上手に使っています。それを子どもたちがどのように捉えるか、紙を使って授業をしたと捉えるか、タブレットを使っていると捉えるのかは、質問の仕方、子供の答え方によって若干違っているという意味です。

羽中田委員

いずれにしても、タブレットを自由に使わせないと、慣れていかないと思います。授業だけで活用するというのではなく、やはり子どもが自由に使える時間をしっかり確保してあげないといけないかと思います。

指導課長

休み時間に使っている子どもたちもいますし、委員会活動で使っていたり、子どもたちが担当するホームページを、タブレットを使ってアップロードしたりもしているので、授業だけではないと思っています。

羽中田委員

それと同時に、強制的にということ変ですが、やはり紙でしっかり学習を進めるということも入れていかなければいけないと思います。それに関連して、やはり文章を表現する力がとても低く、流山の子どもたちも全国と同じような傾向があると思うのですが、もっと文章を書かせるということをきちんとしないと、論理的な考え方は育たないと思います。是非、文章を書くということ、ペーパーを使った「書く」を大事にしていきたいと思います。

田中教育長

I C Tの活用についての質問については、質問の仕方が悪いかなと思います。「授業でパソコンやタブレット等のI C T機器を週3回以上使用しましたか」だけなので、やはりそれは子どもの取り方にもそれぞれあると思いますし、ましてこの質問の対象が小学校6年生と中学校3年生だけなので、いろいろな意味で難しいのかと思っています。

宮本委員

同じく全国学力学習状況調査結果の「小学校の正答率が低い問題」について、まさにうちの小学生次男がこれだなという感じなのですが、学習の仕方を見ていて、長男の時と比べると漢字の学習の仕方が変わってきているのかなと感じました。夏休みの課題を見ていても、タブレットの中のドリルパークで漢字をやるのですが、タブレットに書くことが大変というか、うまく反応するように書くことに集中していて、覚えるためにというよりも、タブレットに○をもらえるように、少しでもハネがおかしいともう1回やり直しになるので、とてもやりづらそうに思いました。先生に聞いたらノートでもよいというので、ノートに書いてやっていました。また、同じ漢字をひたすら練習するという感じで音や読みだけ覚えていたので、熟語になった時や文章で組み立てる時に、同じ読みでも全く違う漢字を書いていたりすることが多かったです。漢字に関してはタブレットよりも、書いたり、辞書で熟語を調べたり、漢和辞典を使って勉強するほうが身に付くのではと、保護者の目線で思いました。タブレットはとてもやりづらそうな感じがしました。

田中教育長

学校も、最初の頃はタブレットをどんどん使用して授業を行っていましたが、3～4年経ち、やはり領域、分野において、先生方が使い分けできるようになってきたのかと思っています。今、宮本委員がおっしゃったように、漢字をタブレットに書いていった結果、正確な漢字が書けない、読めないということで、ある小学校ではドリルパークから漢字ドリルを買い、そのドリルを行ったところ、各学年の漢字テストの平均点が10点上がったということで、そのあたりはやはり大きな1つの課題でもあります。ただやはり先生方もある程度スキルアップしていかないと使い分けできないので、これは恐らく全国的な課題でもあるのではないかと考えています。

そのほか、何かございますか。

(特になし との声あり)

田中教育長

特にないようですので、各課等事務連絡についての質疑等を終了します。

以上をもって、本日教育委員会会議に付議された案件の審議は終了いたしました。

以上で、令和6年流山市教育委員会会議第9回定例会を終了します。

(閉会 午前10時20分)